

令和2年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要  
多角化経営部門

直売・カフェの展開による“みりょく”あるお茶づくり

○氏名又は名称 農事組合法人八女美緑園製茶（代表 江島 一信）

○所在地 福岡県八女市

○出品財 経営（販売革新）

○受賞理由

・地域の概要

八女市は福岡県の南部に位置し、気象・土壌条件に恵まれた全国有数の高級茶の産地である。八女市、筑後市、広川町からなる八女地域の耕地は5mから700mという標高差を持ち、気温の日較差などの内陸性気候と年間1600mm～2400mmに及ぶ降水量、古成層土壌に含まれる豊富なミネラル分などが茶の生産に適している。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

農事組合法人八女美緑園製茶は、5名の茶業農家が、共通課題の解決と直売による新たな経営展開構想に賛同し、平成8年に結成した農業法人である。煎茶・碾茶の生産と併せて、加工製造、直売、緑茶喫茶店など魅力ある茶業経営を展開している。構成員全戸に後継者がおり、うち1戸は従業員への第三者継承を行っている。

・受賞者の特色

（1）碾茶栽培への早期の取り組みと茶の直売及び茶を原料とする商品開発

抹茶の業務用需要にいち早く対応して、高収益な碾茶生産に取り組んだ。また、幹線道路沿いに直営店を設け、茶葉や食品メーカーと共同開発した抹茶を使った菓子や食品を販売するとともに、隣接するカフェでは、茶と茶そばや抹茶アイスなどのデザートを提供している。さらに、台湾・ベルギーへの茶輸出にも取り組んでいる。

（2）徹底した土づくりと栽培管理

八女美緑園製茶の茶は、「味の濃厚さ」や「うまみの強さ」を特徴とする。分析キットを所有して、毎月、社内で土壌分析を実施し、分析結果に基づいて自家配合肥料を製造し茶園に適正投与するなど、環境負荷低減、経費削減に努めている。

また、茶園での栽培管理から煎茶工場及び抹茶工場での加工に至る全ての工程において、ASIAGAPを取得するなど、安全面、衛生面に細心の注意を払っている。

・普及性と今後の発展方向

需要に応じた茶生産を行い、6次産業化に取り組み、高い収益性を上げるという普及性を持つ。今後、組合員の茶園面積拡大と効率的生産の推進、輸出拡大のための有機JAS認証取得、品種の適正化と高樹齢茶園の更新、後継者の育成に加え、引き続き魅力ある店舗づくりやカフェ運営により、地元内外の新規顧客獲得に努めていく。